

湖美来 通信



ふくしまから
はじめよう。

uture
rom
ukushima.

発行／猪苗代湖・
裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
住所／福島市杉妻町2番16号
(事務局 福島県生活環境部 水・大気環境課)
TEL.024-521-7258 FAX024-521-7927
E-mail / kosuikyoku@ht-net21.ne.jp
ホームページ / http://www.ht-net21.ne.jp/~kosuikyoku/

「この人に聞く」

- (磐梯山ジオパーク協議会 専門員 蓮岡真さん) 2
- 猪苗代湖のヒシ刈り取りの取り組みについて 3
- 猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会
平成 27 年度上半期活動報告 4
- 湖美来クラブ会員募集 5
- おすすめスポット／寄附の御礼／編集後記 6

「次代に残そう紺碧の猪苗代湖、清らかな青い湖 裏磐梯」



「猪苗代湖クリーンアクション 2015」のようす
(平成 27 年 4 月 18 日 猪苗代湖・天神浜)



「猪苗代湖クリーンアクション 2015」のようす
(平成 27 年 6 月 27 日 猪苗代湖・舟津浜)



「親子で学ぶ猪苗代湖ものがたり」のようす
(平成 27 年 7 月 25 日 猪苗代町体験交流館)



「親子で学ぶ猪苗代湖ものがたり」のようす
(平成 27 年 7 月 25 日 猪苗代湖・天神浜)

この人に聞く

磐梯山ジオパーク協議会
専門員 蓮岡 真さん



磐梯山周辺地域の魅力を伝えるため、様々な活動に取り組んでいる磐梯山ジオパーク協議会の蓮岡さんにお話を聞きしました。

Q 磐梯山ジオパーク協議会では、どのような活動をされていますか？

A ジオパークは、主として地形・地質を対象とする大地の公園（日本ジオパーク委員会より認定される）で、地形・地質はその場所の生態系に大きな影響を与え、また、そこで生活する人々の生活様式や文化とも関係しています。そのため、ジオパーク協議会では、生態系や地域の生活・文化や歴史なども活動の対象としています。その活動は、①保護・保全、②調査研究・教育普及、③地域振興やジオツーリズム、と3つの柱で展開しています。

Q いままでの活動で印象に残っていることを教えてください。

A 磐梯山ジオパークの魅力について知っていたり、出前講座が印象的です。特に、昨年からスタートした「大人のジオパーク講座」は定期的に開催しており、新たな仲間も加わって、毎回楽しく活動しています。地元出身ではない私から地元の新しい魅力を見聞きする新鮮さに出会っていたり、私も初めての情報をいただいたりと、話題のつきない出前講座の活動が続いています。

Q ご出身はどちらですか？また、どのようなところですか？

A 大学入学の時に、岡山県から福島県にやってきました。岡山県は、なんと言っても「晴れの国」であり、「桃太郎の故郷」でもあります。生まれ故郷の倉敷市は美観地区が有名ですが、地元の児島地区は、国産ジーンズ発祥の地として有名です。

Q ご趣味は何ですか？

A 最近の趣味は、4歳になる息子と遊ぶことです。息子は新幹線や鉄道が大好きですので、ふくしまステーションキャンペーンでは、鉄道を追っかけたり、フルーツ列車に乗ったりしました。また、自分が経験したことのない、子どもたちが楽しめる福島県を見つけて家族で楽しむことですね。

Q 磐梯山周辺地域の良さはどんなところだと感じていますか？

A 優美な姿に心よりどこかを感じさせてくれる磐梯山、荒々しさの中に人と自然の再生と共生の力を体感できる磐梯山が好きです。

Q お気に入りの場所があれば教えてください。

A 目の錯覚に陥り、普段から眺めている磐梯山が大きいのか小さいのか戸惑ってしまう崩壊壁（爆裂火口壁）と対面できる場所です。

Q これから取り組んでみたいことがありますか？

A 磐梯山の麓に育つ大地の恵みを活用し、見所をイメージできてここでもしか食べることができないジューズやグルメを美味しく楽しく地域の皆さんと作って、広めていけるような取り組みを増やしていきたいです。





猪苗代湖のヒシ刈り取りの 取り組みについて

猪苗代湖におけるヒシの 繁殖状況

猪苗代湖の北岸では、7～9月頃にかけてヒシが繁殖し、その範囲は年々拡大しています。小黒川河口から松橋浜のあたりが最も繁殖している場所で、陸からは暗緑色に見えます。

白鳥浜や松橋浜では、かつては希少種であるアサザがみられましたが、年々範囲は縮小し、繁殖力の強いヒシが増えてきています。増えすぎたヒシの腐敗による水質悪化が心配されています。

ボランティアによる回収

「猪苗代湖の自然を守る会」の皆さんが手作業でヒシ回収を行っています。真夏の暑い時期に胴長を着て作業をしますが、濡れているヒシは重く、なかなかの重労働です。

最近、回収作業に参加する団体も増え始めていますが、ヒシの繁殖が



強く回収が追いつかないのが現状です。

ヒシ刈り取り船の導入

福島県では、8月上旬にヒシ刈り取り船によるヒシ回収を実施しま



した。昨年試験的に刈り取り船を導入した結果、人力による回収よりも効率的に回収することができたため、稼働日数を今年は5日間に増やしました。

ヒシ刈り取り船は全国的に珍しい船で、県内にはないため、岐阜県から運搬してきました。琵琶湖や諏訪湖でもヒシの増殖に悩み、導入実績があるとのこと。

5日間で23トン、約1.7ヘクタールのヒシを回収することができましたが、広大な繁殖面積からみるとまだ一部を刈り取ったに過ぎません。

今年の刈り取りの成果をみながら、今後の対策を検討する必要があるそうです。

猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全フォーラムのお知らせ

猪苗代湖や裏磐梯湖沼の水環境に対する皆様の理解を深めていただくため、フォーラムを開催します。

- 日時 平成27年11月27日(金) 13:00～15:40
※11月17日(火)までにお申し込みください。
- 場所 ホテルリステル猪苗代 天鏡の間
- 内容 新潟大学名誉教授・NPO法人新潟水辺の会顧問の大熊孝氏による講演や水環境保全団体の取り組み事例発表など
- 申込 協議会事務局(県庁水・大気環境課内) 電話024-521-7258

★来場者のなかから抽選で20名の方に流域の特産物をプレゼント!



平成27年度上半期活動報告

4/18

猪苗代湖クリーンアクション2015（福島県と共催）

猪苗代湖北岸にてボランティアによる清掃活動「猪苗代湖クリーンアクション」を実施しました。春になり雪がとけると、冬の間に流れ着いたごみやヨシ屑が姿を現わします。そこで、小黒川河口付近、松橋浜、青浜、天神浜の4班に分かれて清掃

を行いました。約350名が参加し、約4トンのごみを回収しました。当日は天気に恵まれ、磐梯山、猪苗代湖を眺めながらの作業になりました。標高の高い猪苗代湖にも春の訪れを感じる温かい日でした。



湖岸のごみを回収



磐梯山がくっきり！

6/27

猪苗代湖クリーンアクション2015 VOL2・in舟津浜



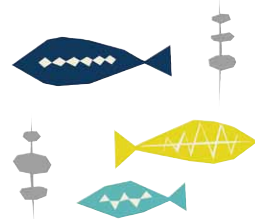
曇り空の下での作業

昨年と同様に、舟津浜（郡山市湖南町）にて「猪苗代湖クリーンアクション2015」の第2弾を実施しました。舟津浜では、西からの風の影響でヨシ屑などの漂着物が多く打ち上げられます。開催日はちょうど東北地方の梅雨入りと重なり天候が心配されましたが、どうにか雨もやみ、無事開催することができました。約380名が参加し、ヨシ屑を中心に約3.3トンのごみを回収



しました。

清掃の後は、地元婦人団体「よつてがしよっぱの会」の皆さんに豚汁をふるまっていただきました。



清掃お疲れ様でした！

7/25

親子で学ぶ猪苗代湖ものがたり

親子で猪苗代湖への理解を深めてもらうために学習会を開催しました。参加者は7名でした。

午前中は、「NPO法人こどもの森ネットワーク」の橋口先生を講師に迎え、猪苗代町体験交流館で猪苗代湖の特徴を学びました。子ども達も説明を聞きながら、将来どのような猪苗代湖になればよいのかを考えていました。



実験で楽しく学習

午後からは、「猪苗代湖の自然を守る会」の鬼多見代表にガイドをお願いして猪苗代湖を見学しました。最初に訪れた昭和の森の展望台はともに見晴らしが良く、眼下に広がる青い猪苗代湖が印象的でした。また、磐梯山の湧水に触れたり天神浜で水質調査をしたりと、子ども達も普段とはちょっと違う体験ができたようです。夏休みの良い思い出になったのではないのでしょうか。

午後からは、「猪苗代湖の自然を守る会」の鬼多見代表にガイドをお願いして猪苗代湖を見学しました。最初に訪れた昭和の森の展望台はともに見晴らしが良く、眼下に広がる青い猪苗代湖が印象的でした。また、磐梯山の湧水に触れたり天神浜で水質調査をしたりと、子ども達も普段とはちょっと違う体験ができたようです。夏休みの良い思い出になったのではないのでしょうか。



展望台の眺めは最高！



みずみらい「湖美来クラブ」会員募集中！

みずみらい湖美来クラブでは、会員の方からいただいた会費をもとに、猪苗代湖・裏磐梯湖沼の水環境をきれいにするための水環境保全活動への支援など、様々な取り組みを行っています。一緒に猪苗代湖・裏磐梯湖沼をきれいになりたいという方のご入会をお待ちしております。

ご入会希望の方は、ゆうちょ銀行または郵便局窓口にて以下の口座に会費をお振り込みください。振込手数料が別途必要ですが、事務局までお問い合わせいただければ、振込手数料が無料の専用の振込用紙をお送りします。

☎ 座：02250-1-98147

名 義：猪苗代湖・裏磐梯湖沼水環境保全対策推進協議会

年会費：2,000円（個人） 10,000円（法人）

特 典：各種イベントのご案内、流域特産物の抽選プレゼントなど

お問い合わせは、県庁水・大気環境課までお願いします。

▶ 電話 024-521-7258

好評につき

10月・11月ご入会の方へ特典！
特製エコバッグ
をプレゼント！





近代化の歴史を感じる文化遺産

◆ 十六橋水門 (会津若松市、猪苗代町)

十六橋水門は、猪苗代湖から会津方面に向かって流れている日橋川の流出口に設置された水門です。1880年

(明治13年)、安積疏水の工事に伴い建設されました。なぜ安積疏水の工事で会津方面に水門をつくるのかというと、安積疏水により郡山方面に水を引いた後も、会津の人たちが安定して湖水を利用できるようにする必要があったためです。そのため流出口に水門をつくり、川底を掘り下げて必要な水量

を確保するとともに、ダムのように水を貯めて流量を調整できるようにしたとのことです。

現在の水門は1914年(大正3年)につくられたもので、日本の産業近代化に貢献したとして、2009年(平成21年)に経済産業省の近代化産業遺産の一つに認定されています。

設計を指導したオランダ人技師ファン・ドールン像が水門脇に立ち、現在も水門を見守っています。



※一万円以上の寄附について掲載させていただきました。他にも多くの方から寄附をいただいておりますことに御礼申し上げます。

イオンスーパーセンター(株)様	(岩手県盛岡市)
イオンリテール(株)様	(千葉県千葉市)
(株)ニチレイ様	(東京都中央区)
国際ロータリー第2530地区様	(福島県福島市)
中村 玄正 様	(福島県郡山市)

湖美来基金に対して寄附をいただきました。ありがとうございました。



編集後記

猪苗代湖は、かつては水質日本一を誇りましたが、平成21年度以降は、大腸菌群数が環境基準値を超過しているため、ランキングの対象外となっています。大腸菌というと、糞便性大腸菌を思い浮かべる人もいますが、現在猪苗代湖で増えている大腸菌群は、種類などから推定して土壌などの自然由来のものと考えられています。

なぜ大腸菌群が増加したのか、詳しい原因は分かりませんが、猪苗代湖の水質は近年、酸性から中性に変化してきており、ほぼ同じ時期に大腸菌群数が増え始めていることから、水質の中性化が影響している可能性があります。

また、ヒシやヨシといった水生植物も近年増殖を続けており、枯れて腐敗したときの水質への影響が心配されます。湖の環境は微妙なバランスの上に成り立っていることを改めて感じます。